

車を汚れるなどから守るだけでなく、インテリアにドレスアップ効果をもたらす、車内環境をより快適なものにしてくれるのがフロアマット。縁の下の力持ちともいえるアイテムについてオーダーマットの老舗「カロ」で話を伺った。

取材協力●株式会社カロ <https://www.karo1980.jp/>

# こんなパーツ あんなパーツ

レーシングドライバー  
猪爪杏奈

全日本ジムカーナの選手だった父親の影響を受け、免許取得を機にサーキットデビュー。スーパー耐久レースやJAF-F4選手権で活躍する傍ら、執筆活動を行う期待のレーシングドライバー。



オーダーメイド方式でひとつひとつ丁寧に作られているから、自分のクルマに装着したときに一層愛着がわきそうです。

ためフットペダルに被さってしまふ可能性があるので、安全面において問題が生じることがあります。その点、弊社オーダーシステムカーマットは国産・輸入車を独自に採寸した4370車種にも及ぶ専用型を保有しており、ジャストフィットするマットで車内の雰囲気が一変します。

**猪爪** 現車で採寸した型が4370車種もあるんですね。凄いです！

**森谷** そうなんです。しかも同一車種でもグレードによって若干床面が違っていたりもするんですよ。その点も注意して、しっかりと採寸しているので、それぞれのクルマにピッタリ装着することができます。

**猪爪** そんな細部まで気にかけているとはさすがです。自分のクルマに合うマットが探せますね。

**森谷** 次に耐久性についてですが、一番人気の「シザル」というモデルは天然素材のなかでも最も強靱なシ



**Check Point!**  
素材によって異なる印象  
シザルの発色のよさをウール調の素材で再現したフラクシー。同じチェック柄でも素材によってかなり質感や印象が変わるのも特徴的。カロでは全5種類のモデルをラインアップ。



**Check Point!**  
オーダーシステムマット  
カロのオーダーメイドシステムでは、素材やカラーリングを自由に選択して、オリジナルのマットを作れる。ラインアップにない車種でも自分で採寸した型を送れば特注も可能。

専用設計ならではの  
フィットインク

**[KARO] SISAL**  
参考価格:トヨタ・86(AT) 3万7000円  
マツダ・CX-3 3万8600円  
最も人気のあるシザルは天然素材のなかで強靱なシザル麻を使用したモデル。耐久性は極めて高くさまざまな車種に合うチェック柄が特徴的。サンプルは40周年を記念したアニバーサリーモデル。

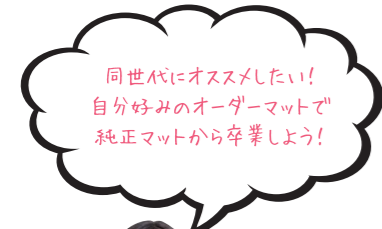


ザル麻を使用しています。縫製は縁テープを2本針で縫うことで、高品質のマットを上質感漂う仕上がりにしています。

**猪爪** たしかにサンプルで用意していただいたシザルはとて色あざやかで、これはドレスアップ効果も期待できそうですね！

**森谷** 中古車の場合、フロアマットが汚れていたりすることもありますが、よね。そんなときは、フロアマットを交換するだけで使用感はかなり和らげることができますし、インテリアの印象も変わるのでカスタマイズの第一歩としてもオススメです。

**猪爪** オーダーメイドのフロアマットへ交換することで、よりクルマへの愛着もわきますよね！中古車購入の際は、ぜひフロアマットの交換も検討してみてください。カロの製品なら、あなたのクルマにピッタリのマットが見つかりますよ！



同世代にオススメしたい！  
自分好みのオーダーマットで  
純正マットから卒業しよう！



## まとめ

フロアマットもカスタムできる！

今回取材するまで、フロアマットがカスタムできるとは知りませんでした。麻ならではの感触で発色がよいシザルは、お手入れもやすく型崩れしにくいので、人気の理由がよくわかりました。特にKARO40周年記念として発売されたブルー×ホワイトは、爽やかでひと目惚れしちゃいました。個人的に気になったのはクエスト。裸足で乗りたくなるフワフワな質感で、車内が最高級の空間に生まれ変わりそう。私も純正マットから卒業したくなりました！

## OTHER MODEL



**[KARO] QUEST**  
トヨタ・86  
4万8000円  
マツダ・CX-3  
4万9600円

特殊化学繊維にカット&ループ製法を施し、長い毛足とボリューム感ある高級感漂う仕上がりが特徴。厚みがあることで走行音をしっかりと吸音し、快適な車内空間を提供してくれるカロ最高級モデル。



**[KARO] FLAXY**  
トヨタ・86  
3万8000円  
マツダ・CX-3  
3万9600円

コシのある特殊化学繊維をループ織りに仕上げ、単色で染色繊維をグラデーションで表現したモデル。高い発色性を持ち、あざやかなカラートーンにより車内の雰囲気をスタイリッシュに演出する。

アフターパーツのトレンドを探り、クルマの楽しさを伝えていく本企画。今回は今どきのフロアマット事情について「KARO」さんで取材してきました！

**猪爪** 最初に販売開始から40周年というところで、おめでとございます。森谷 ありがとうございます。これからもより一層お客様にご満足いただける製品を提供していけるよう精進して参ります。

**猪爪** 40年という長い間、愛され続けているのは本当に凄いですよね！ なにか人気の秘訣ってあるのでしょうか？

**森谷** そうですね。弊社製品はまず車種専用設計であること、高い耐久性を持つオシャレなオリジナル原反で展開していることです。フロアマットは大きく分けて「汎用タイプ」と「車種別専用タイプ」があります。汎用タイプはどの車種にも装着できる反面、専用設計ではない



「フロアマットはあまり注目されにくいアイテムですが、これからは“フロアマットを変える文化”を定着させていきたいです」と取締役社長室長の森谷さん。